

和歌山病院での実習を終えて



渡邊 亘平

私は 3/13-14 の二日間に渡り国立病院機構和歌山病院での実習をさせていただきました。内容は結核、画像読影、酸素投与療法についてなど、呼吸器疾患に関連したものが主でした。結核に関しては病態生理や治療、画像についての講義の他にも、結核病床の見学をさせていただいたり N95 マスクを実際に着用させていただいて、とても結核についての理解が深まりましたし、その後和医大に戻ってから N95 マスクを着用する機会にもスムーズにできたと思います。実習を通して最も印象に残ったのは、南方院長先生の画像読影についてのセミナーでした。正常のレントゲンについて、基本原理に近いところから教えていただきました。これまでこんなに基本から教えていただいたことがなく、曖昧だった理解が少し固まった気がします。これだけでも御坊まで実習に来たかいがあったと思います。知識をただ覚えるだけでなく、レントゲンについての理解を深めることで頭からレントゲンの読み方が抜けにくくなったと思います。南方先生からつけていただいた考える習慣をこれからもどの分野でも活かして優れた医師になれるように努力していきたいと思います。

二日間、本当にありがとうございました。